

## むすびにかえて

本地域デザインフォーラム第5期の当初の全体テーマは、「参加と協働の仕組みづくり（住民によるまちづくり）」であり、第1分科会のサブテーマは「地域リーダー（コーディネーター）の育成」と「シニア世代の社会参加」であった。しかしながら、第1分科会を構成する大学側の主たるメンバーのほとんどが大東文化大学の経営学部にも所属する研究者であることから、当初のサブテーマではそれぞれの専門分野の知識ないしは経験を生かすことは難しいであろうという懸念から、本分科会のサブテーマを検討しなおすことが、提案された。

その結果、各研究員がそれぞれの立場で「参加と協働の仕組みづくり」という全体のテーマに沿ったサブテーマもしくはアプローチ方法を考えることとなり、いくつかのテーマないしはアプローチが提示された。これから、「板橋区の政策的経費に用いる資金を増やす”こと”によって、「参加と協働の仕組みづくり」を支える基盤となるものを作り上げる、あるいは逆に“住民の参加と協働によって政策的経費に利用可能な資金を生み出すこと”を目的として議論を進めることとなり、今回の本研究部会のテーマもしくはアプローチが採用されることとなったのである。

このような経緯から、本研究部会のブックレットのテーマが「地方公共団体の財政改革への新たな提言に向けて」となり、第1章が「財政改善のための NPM の導入—ABC の適用可能性を中心として」、第2章は「新しい法定外税としての『事業承継者支援税』の創設提言」、そして第3章が「PFI 事業を通じた支援の基礎的考察」となったわけである。

実を言うと、研究部会の研究員がそれぞれのテーマごとに分かれ、研究を進めていく初期段階では、本ブックレットのテーマないしは構成とは幾分異なったアプローチが含まれていた。それは、先に示した本分科会の第2番目のアプローチ方法である“住民の参加と協働によって政策的経費に利用可能な資金を生み出すこと”を目的とした、板橋区の独自の資金獲得計画を策定し、実行することに関す

るものであった。それには次のような4つのビジネスプランがあった。

(1) 「ニュー・ベンチャー・シンクタンク&ベンチャー・ビジネス塾」

① ミッション・ステートメントと事業コンセプト

板橋区はトプコン、凸版印刷、アステラス製薬、タニタなどの優良企業が多く在籍するビジネス先進区である。これらの企業と市民ネットワークをジョイントさせたニュー・ベンチャー・シンクタンクもしくはニュー・ベンチャーのための市民と企業のプレーン・ストーミング塾なるものを板橋区が主導して、ニュー・ベンチャーないしは新製品開発ラボのようなものを立ち上げ、定期的にアイデアを生み出す仕組みづくりをする。

② 事業の定義

テクノロジー&スキル

- 優良諸企業の保有・利用し得るテクノロジーおよびスキルと人材
- 板橋区の人材ネットワークを通じた専門家もしくは専門職（大学を含めた）の人材

対象顧客セグメント

- 本プロジェクトへの参加企業（社内ベンチャー）
- 発案されたアイデアの売り込み先と目される企業
- 本プロジェクトから生まれるニュー・ベンチャー企業

顧客に提供するベネフィット

- これまでにない市場ないしは製品アイデアおよびコンセプト
- 板橋区の参加企業への新規アイデアの提供
- 板橋区の参加企業の遊休テクノロジーあるいはスキル、施設の有効活用

(2) 「板橋コミュニティ・オリンピック」

① ミッション・ステートメントと事業コンセプト

板橋区の所有しているスポーツ施設（ex: 小豆沢公園・体育

館その他)を利用した市民オリンピックや Xゲームのようなものを開催する(区民大会とは別に、もしくは区民大会を拡大して)。板橋区はスポーツ・イベント以外にもさまざまな地区で“市民祭り”のようなものを開催しているので、そのノウハウを十分持っており、それらを活かせる可能性が高い。各スポーツの参加については参加チームを幅広く募り(都内住民および都内に勤めている人々、都内企業など)、参加料もしくは協賛金を取って、J-com やさまざまな媒体を通じて大々的にプロモーションをする(もちろん、その際には、広告料収入も期待できるだろう)。

## ② 事業の定義

### テクノロジー&スキル

- 板橋区の持っている区民大会や各種スポーツ大会に関するノウハウ
- 板橋区の所有する都内有数のスポーツ施設
- 板橋区の人材バンクを通じたスポーツ有名人
- 大東文化大学のスポーツ健康科学部の人材および関係人脈
- 板橋 TV などのマスメディア

### 対象顧客セグメント

- スポーツを身近に楽しみたい市民および近隣住民
- 日ごろからスポーツをやっているが、組織的に参加したい個人やチーム
- スケート・ボードやマウンテン・バイクなどを楽しんでいるが、気軽に参加できる大会が欲しいと考えている X ジェネレーション、もしくはそれらスポーツの愛好家

### 顧客に提供するベネフィット

- さまざまなスポーツを通じた人的コミュニケーション
- 大会を通じたスポーツ振興
- 趣味や娯楽でスポーツを楽しむ人のための成果の発表場所

## (3) 「シルバー保育園」

### ① ミッション・ステートメントと事業コンセプト

シルバー人材を活用した区が主催する、もしくは第 3 セクターによる保育園。これには制度的・法的問題などクリアしなければならない問題は数多くあるが、元気なお年寄り、そして子育てのベテランとしてのお年寄りを中心に現代問題となっている待機児童を解消するべく、板橋区の遊休施設（統廃合された小学校など）を利用した保育園を運営する。これにより、運営コストは低く保つことができ、安心して子供を預けられる環境づくりをする。

## ② 事業の定義

テクノロジー&スキル

- 板橋シルバー人材センターの人材データとスキル
- 元気なお年寄りの多い板橋区
- 板橋区の利用可能な遊休施設
- 子育てのしやすい環境

対象顧客セグメント

- 待機児童を抱えた家庭
- 現在板橋区に増えつつある共働き家庭
- 働きたいお年寄り

顧客に提供するベネフィット

- 安心してあずけられる身近な保育施設
- 子育てのベテランであるシルバー人材による躰
- お年寄りの経験・ノウハウの蓄積からの知的教育

## (4) 「区の行政と企業とのコラボレーションによるデベロッパー事業」

### ① ミッション・ステートメントと事業コンセプト

区および大学の専門家、そして企業から選ばれたメンバーによる「板橋デベロッピング会議」なるものを招集・形成して、これからの板橋区の中核となる Ward Park & 商業集積を考案・計画する。

### ② 事業の定義

テクノロジー&スキル

- 大東文化大学等板橋区の大学などの専門研究者の知識
- 板橋区が保有している地域に関する情報
- 板橋区の将来構想ビジョン

#### 対象顧客セグメント

- 板橋区に近年流入している若い世代
- ファッションブルな生活を志向するニュー・ファミリー層
- 安心して買い物や散歩などを楽しみたいと考えているシルバー層

#### 顧客ベネフィット

- 先進的なファッションや流行を取り入れた店舗の提供
- 生活者の視点に立った公園型商業集積
- 地域の人々の精神的オアシスとしての空間

しかしながら、このアプローチを提案した研究員の諸事情により、今回はこのアプローチは実現はもとより、研究としての形式を成すまでには至らなかった。これについては、次期デザインフォーラムでの検討課題として引き継がれることを期待したい。

## 執筆者一覧

地域デザインフォーラム・ブックレットの刊行にあたって  
中村年春（大東文化大学経済学部教授）

### 第1章

松尾敏充（大東文化大学経営学部教授）

飯岡潤一（板橋区産業経済部産業活性化推進室産業活性化推進担当係長）

### 第2章

高沢修一（大東文化大学経営学部准教授）

原 智士（板橋区区民文化部地域振興課中台地域センター副所長）

### 第3章

石井昌宏（上智大学経済学部准教授）

石橋千広（板橋区健康生きがい部介護保険課長）

水野博史（板橋区総務部課税課税担当係長）

### むすびにかえて

首藤禎史（大東文化大学経営学部教授）

※所属・役職等は2011年3月現在

---

---

地域デザインフォーラム・ブックレット No.24

地方公共団体の財政改革への新たな提言に向けて

---

---

編集 大東文化大学・板橋区 地域デザインフォーラム第一分科会

発行者 大東文化大学 地域連携センター

〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1

電話 03-5399-7350 FAX 03-5399-7850

URL: <http://www.daito.ac.jp/designforum/index.html>

発行 2011年10月31日

